

第42回 卒業証書授与式



平成28年3月1日(火)、第42回卒業証書授与式を挙し、3人の卒業生が五木分校を巣立ちました。当日はすっきりと晴れやかな天気の中、多くの方々のご臨席を賜り、深水校長の式辞、県教育委員会のあいさつに続き、来賓を代表して松田県議会議長、和田村長、岩本五木秀麗会会長から卒業生へのお祝いや激励の言葉をいただきました。

在校生を代表して生徒会長の土屋君が先輩達への感謝を述べ、卒業生代表の岩本君が五木分校での3年間の思い出を振り返りながら答辞を行うと、多くの涙を誘い、思い出に残る感動的な卒業式となりました。また式後は、卒業生、在校生、保護者、職員全員での茶話会が行われ、卒業生と過ごす最後の楽しいひと時となりました。卒業生の今後の活躍を期待します。

◎答辞を一部抜粋して掲載します。

答辞 卒業生総代 岩本侃祐

(前略)

振り返ると三年前、これから始まる高校生活に希望を抱きながら、右も左もわからず迎えた入学式当日、この体育館で同級生や先輩方、先生方と顔を合わせ、自分が分校生になったことを実感したのを覚えています。同級生に知り合いがおらず、上手くやっていたか不安もありましたが、先輩方が優しく声をかけてくださったり、同級生同士馴染めなかった私たちのために、当時の担任だった西岡先生が昼休みに一緒にお弁当を食べ、沢山の話をしてくださったりしたおかげで、すぐに打ち解けることができました。

(中略)

三年生になると、最上級生としてのプレッシャーや今まで以上に自分の進路と真剣に向き合うこととなり、焦ってどうすれば良いのかわからなくなる事もありました。しかし、そんな時はいつも家族が励まし支えてくれました。よく体調を崩し沢山の心配をかけたが、これまで十八年間いつも傍にいて、どんな時も真剣に私に向き合ってくれた両親には感謝してもきれません。本当にありがとうございます。これからは自分の力でしっかりと前に進んでいきます。

在校生の皆さん。みんなと過ごした高校生活はとても楽しくて良い思い出ばかりです。頼りない先輩だったかもしれませんが、いつでも良い先輩でいようと努力してきました。今考えるとしっかり者のみんなに支えてもらうことが沢山ありました。そんなみんなだからこそ、安心して五木分校のことを任せられることができます。この五木分校で楽しい思い出を沢山作ってください。

(中略)

そして、二年生から担任をしていただいた桧山先生には時に優しく、時に厳しくご指導いただきました。人前で話すことが苦手な私たちが、少しでも話すことが出来る様にと、終礼の中で一分間スピーチを設けてくださいました。そのおかげで人前で話すことが出来るようになりました。桧山先生には、これまで沢山の迷惑とご心配をお掛けしました。最後まで私たちのことを信じ、見守ってください。ありがとうございます。まだまだ未熟ではありますが、先生方のご指導のおかげで少しは成長することができたと思います。ありがとうございます。

最後に、この五木分校で一番長く時間を共にした瓜生さんと椎葉さん。瓜生さんはいつも明るく周りの人にも元気をくれました。世界史が得意で、特に人物の知識が豊富で凄かったです。椎葉さんは何事にも真剣に取り組んでいる姿を見ていつも尊敬していました。絵が上手で五文祭など色々な場面でそれを活かし輝いていました。そんな二人と三年間共に過ごすことができて本当に楽しかったです。

この五木分校で沢山のひとと出会い本当に多くのことを学びました。楽しかったこと、辛かったこと、その全てが五木分校で過ごした大切な思い出です。私たちはこの五木分校で学んだことを胸に、力強く未来に向けて前進します。最後になりましたが、五木分校の益々の発展と、ご出席いただいた皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。答辞とさせていただきます。



第178号
平成28年3月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校

転任される先生方

坂本 道彦 教頭先生

この度の定期異動で、多良木高校に転出することになりました。1年という短い時間でしたが、保護者の方々、五木村の方々には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

五木分校で出会った生徒諸君へ、1年間でしたが、とても楽しい時を過ごさせてもらいました。少ない人数で、学校行事(運動会・五文祭等)や地域ボランティア活動等、一人何役もこなす皆さんはとても輝いていました。個人的に言うところの「ティーボール」の授業、放課後にしたキャッチボールが思い出です。

卒業した(3年生)岩本君、瓜生さん、椎葉さんへ

新しい生活が始まりますが、新生活は誰でも不安だらけです。自分にあったペースで歩いてください。

2年生の土屋君、下原君、足立さん、椎葉さんへ

最高学年になります。後輩を引っ張り五木分校を盛り上げてください。分校を任せます。そして進路決定の年となります。頑張ってください。

1年生の井上君、豊岡君、嶽本君、田上君、森下君、西さんへ

後輩が入ってきます。後輩の良い手本になり先輩を助けようという分校をつくってください。

最後になりますが、五木分校のますますのご繁栄と生徒の皆さんそれぞれの「夢が叶うこと」を祈念して転任のあいさつとします。ありがとうございました。

松江 和人 先生 (事務職員)

この度の定期異動により八代市立泉小学校へ転出することになりました。三年前、初めて分校にきたときは霧が濃く発生していて、「本当にこの先に学校があるのかな?」と不安に思いながらおそれるおそれる運命の今でも覚えています。入学式、合同運動会、マラソン大会などたくさんの行事を通して、生徒の様々な個性を見ることができました。生徒のみならず、どんなにつらかったり苦しかったりしても必ず道は開けると信じて頑張ってください。必ず霧は晴れてきます。保護者・地域の皆さんには大変お世話になりました。五木分校での経験を活かして赴任先でも頑張ろうと思えます。三年間ありがとうございました。



消費者教育講座

2月29日(月)、金融広報アドバイザーの三島俊英氏を招いて、消費者教育講座を行いました。

主役は今春卒業する3年生ですが、1・2年生も一緒に講話を聞きました。契約の成立とクーリングオフ、ヤミ金融の実態など、ポイントを使ったプレゼンテーションで具体例を挙げ、解りやすいものでした。特に最近、熊本で被害のあったカードの名義貸しについての話もありました。上手い話に騙され、自分名義のカードを第三者に渡してしまった為、相手の使った借金を自分が返済しなければならなくなった人がいるという現状も知りました。また他にも、保証人と連帯保証人の違いについての話もあり、どんなことがあっても連帯保証人にはなつてはいけないということが教訓として残りました。消費トラブルに巻き込まれないことが一番ですが、もしものときの対処法を学び相談先を知ることができたことは、これから社会人として自立していく卒業生にとって役立つものだったと思います。

